

# 可茂会後援会報

第31号

2023.12.25

発行

社会福祉法人  
可茂会後援会  
可児市瀬田1648-9  
発行者 加藤 政博  
TEL 0574-64-3366

## 「平穩無事」に感謝

可茂会後援会会長 加藤 政博



私の寝室には、「無事」と書かれた短冊がいつの日からか掛けてあります。

これは、今は故人となられたかつての職場の上司から頂いたもので、これまで何気なく眺めながら過ぎていたのですが、今になって、この「無事」と言う言葉が私の日常生活の中で何より大切な事に気が付きました。この一年間を振り返ってみても、ウクライナやイスラエルでの悲惨な争いを始め、地球沸騰化による様々な異常現象の発生など、コロナ感染症が少し落ち着いたものの相変わらず不安定な社会情勢が続いています。そんな中私事で恐縮ですが、この頃は、就寝前に今日一日自分や家族、特に可茂学園でお世話になっている息子が「無事」過ごせたことに感謝して眠りにつきます。また、朝一番に朝刊を取りに行

く時、我が家の前の神社に向かって「今日も無事で過ごせますように」とお願いすることが習慣になっています。

勿論、「無事」の基準は、それぞれの家庭の状況によって違いますし、事ある毎に神様や仏様にお礼やお願いをしている方も多々と思います。しかしながら、私のように仕事中心でただガムシヤラに生きてきた者は、この「平穩無事」に過ごせる日々に感謝する気持ちを持て時として忘れていた気がします。

現在私自身は、息子が国や自治体から援助を受け可茂学園に入所して毎日が過ごせている事で、日常の社会生活に必要な時間を持つことが出来て本当に有難く思っています。この貴重な時間を活用して、少しでも世の中にお返し出来ればと息子が学園入所以来地域ボランティアなどに夫婦で参加しています。そして、これからも健康に留意して可能な範囲での活動を

続けて行こうと思っています。

令和5年度の後援会活動につきましては、コロナ感染症が5類に移行したこともあり、役員会や手をつなぐ育成会、可児市チャリティーへの参加などが復活出来ませんでした。

久し振りに参加した手をつなぐ育成会の今回テーマは、「どうする育成会」でコロナ明けの今後の育成会を次世代にどうつなげていくかでしたが、可茂学園についても、3年先の移転はもとより、利用者や職員の皆さんにとって学園が「生き生きと楽しく過ごせる場所」であるよう後援会活動を継続していければと思っています。

なお、学園への随時支援につきましては、今年は特に学園からの要望がなかった為、その分、令和8年3月完成予定の学園移転支援費に充当させて頂く事にしますので宜しくお願いします。

最後に、会員の皆様には、日頃からご支援ご協力を頂き心よりお礼申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

花と緑とからくり時計の 可茂学園



# 『親なき後』 について思うこと

施設長 山口 和己



去る10月7日、保護者会及び後援会役員の皆様方とともに、刈谷市で開催された「第55回手をつなぐ育成会東海北陸大会」に参加いたしました。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりにやっとほぼ通常に近い開催となりました。本大会のスローガンは、大河ドラマにあやかっ

『どうする育成会〜次の世代につなげていくために〜』で、中央情勢報告の後、スローガンに沿ったパネルディスカッションへと展開しました。事例報告として、浜松市と愛知県武豊町の育成会の実態と活動が紹介されましたが、ともに育成会への入会が減少し、活動も停滞してしまっている状況、そして武豊町では、会員の減少による自然消滅の危機から辛うじて息を吹き返したなどの切実な実態を知ることとなりました。

近年は、先人の努力のおかげで多くの障害福祉サービスが整ってきていますが、ほとんどの保護者は、子どもが生まれて初めて事実を受け入れるとともに各種支援サービスを独自で学習しなければなりません。そ

して、障がいのある子どもにとって必要な支援は申請主義のため保護者が自ら申し出ないと受けられません。こんな時頼りになるのが、経験者の先輩保護者であり、育成会を介していろいろな情報を得られたのが、これまでの入会のメリットでした。ただ、今では、インターネットなど容易に情報も手に入られます。

一方、育成会会員の高齢化が進み、活動に参加できなくなってきたことも育成会活動の停滞化を招いている大きな要因ともなっているようです。

歴史と実績をなしてきた組織が急速な時代の流れに対応できず、従来のやり方やあり方を続けることが、あらゆる階層、地域のニーズとの間にギャップを生んでいるとも指摘されてきました。

私が、印象に残ったことは、育成会に限らず、障害児者よりほぼ確実に親は先立たなければならぬ現実を控え、親なき後の不安は連綿と解消されていないということ。障害者総合支援法等によって地域在宅支援サービスが展開しつつも、そこには「親の負担を軽減しつつ、ケア提供者としての役割を強化するもの」とあるように、知的障害者の親は制度

の中に組み込まれ、極端な言い方をすれば、親というものはいつまでも居ることが前提とされていることです。

だから、グループホーム等、暮らす場所、居場所もさることながら、ことばの伝達が不自由であったり、こだわりが強く、自分の思いをうまく伝えられない本人に、幼い時からふれあい、目を配り配慮してきた親の何気ない工夫の暮らしのヒント、かわりのコツなどを誰が引き継いでいくのか、親が育んできた近隣地域との関係を誰が見守り、繋いでいくのか、といった不安は募るばかりです。

『親なき後』の漠然とした不安は、今は維持できている親も子も安心できる子ども本人らしい暮らしというものも途絶えてしまうのではないかという不安なのだと言えます。

ディスカッションの中では、育成会は、知的障害者を代表する団体であり、社会の多様化に対応して変化をしながらも次世代の人たちとともに活動を継続しなければならぬと結んでおられました。

我々施設を預かる者として、制度の範疇ではあるものの、『親なき後』の不安を少しでも解消できるよう、利用者、保護者の皆様に寄り添っていかねばならないという気持ちを持っていただいた一つの大きな機会となりました。

## 資源回収報告

資源回収は、皆様のご協力をいただき実施しております。引き続き、よろしくお願ひします。

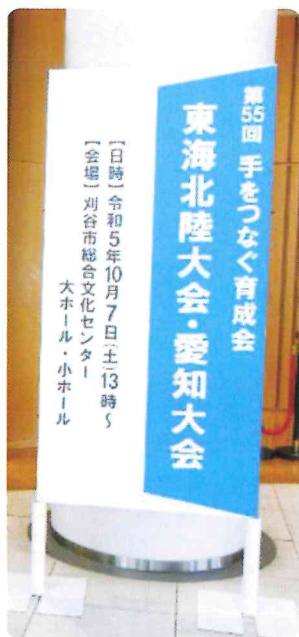
令和5年12月1日現在  
(単位：円)

実施日	12月1日	4月15日	合計
売上	9,200	7,520	16,720
可児市奨励金	3,360	3,200	6,560
合計	12,560	10,720	23,280

【回収品目】 アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌  
※スチール缶、ペットボトル、ピンは回収していません。



# 「手をつなぐ育成会東海北陸大会」



10月7日、第55回手をつなぐ育成会東海北陸大会・愛知大会が刈谷市で開催されました。

可茂会（可茂学園）からは後援会役員を含む16人が参加しました。



## 手をつなぐ育成会東海北陸大会に参加して

安江 剛生

10月7日に、手をつなぐ育成会東海北陸大会愛知大会が刈谷市で開催されました。

アトラクション、大会式典の後、中

央情勢報告が行われ、法制度の動きとして障害福祉サービスの報酬改正の実施や、障がい者の居住支援にグループホームの支援内容の話、成年後見制度の見直し、などの話をされました。

成年後見制度の認知度は80%以上と高いのに、家族以外で一度申請すると後戻りできない柔軟性の無さと、本人の意思を尊重しない後見人の資質の低さなどの課題が指摘されているので利用が進まないと言ったことでした。

休憩をはさんで、パネルディスカッションでテーマ「育成会活動を次の世代につなげていくために」「どうする育成会」と題しての話をされました。

- ・ 育成会活動に若い親の入れがたい。
- ・ 会員が高齢化し減ってきた。

・ 役員を代わってってくれる人がいない。など、世代交代が出来なくなってきた。

そこで、「どうする育成会」

若い保護者のニーズをつかむには、自分に合った支援施設等を知る機会を作ることが重要だと、話されていました。

そういう話を聞いたとき、可茂学園は、ありがたい支援施設だと思いました。

若い障がい者、保護者の方に可茂学園の存在を知っていただき、可茂学園を利用していただき、今現在、頑張っている方々の世代交代が出来ると良いですね。

学園長をはじめ支援員の皆さん、関係者の皆さん、これからもよろしくお願いたします。



## 環境整備(草刈り)をしました



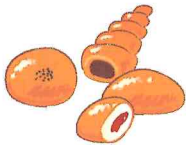
後援会の業務委託で、川辺町シルバー人材センターの皆さんに可茂学園、麦の丘、三ツ池ホームの敷地斜面の草刈りを年3回行っていただきました。



(可茂学園：令和5年6月19日撮影)

## 「健康フェア可児」に参加しました

「令和5年度第30回健康フェア可児」が10月15日に可児市文化創造センターalaで開催されました。可茂会後援会は、麦の丘で焼いたパンと可茂学園で作った鍋敷きを販売しました。



4年ぶりの開催とあって、大いににぎわいました。



### 「健康フェア可児」に参加して

伊賀 左 織

コロナですと中止されていた「健康フェア可児」。4年ぶりの開催で、久しぶりに参加しました。いつもは不用品のバザーがメインになりますが、今回は麦の丘のパン200個、鍋敷き50個の販売です。今年は出店場所が大幅に変わり、奥のデットスペースで入口からは全くの死角。始まりが雨だったのもあり、なかなかお客さんの目に入らず始めから苦戦。仕方なく入口にて呼び込みを始めたら、少しづつお客さんが入って来てくれました。

結果200個のパンは午前中に完売。鍋敷きは9個売れました。反省点としては、お年寄りや子供のお客さんが思った以上に多かったので希望を聞いてみると・・・「クリームパンがほしかった！」

と・・・柔らかくて甘い物が好まれる様子。その様子から、チョコデニッシュ・メロンパン・あんパンは、早めの売り切れに。お惣菜の कोरोツケパンは、昼ご飯の代わりに買って行く方が多かったです。

前回同様、ちくわパンと豆パンが最後まで残ったので、販売するパンの種類、個数を見直した方が良いと思いました。

あと、呼び込み用の旗の準備が必要だと思いました。旗には『可茂学園・麦の丘の焼きたてパン!!』の文字があると宣伝になると思います。店頭で麦の丘のチラシを置くと、お店に来てくれるお客さんが増えると思えました。

後援会員名簿

=敬称略=

特別会員

- 〔二〇〕 吉田整備(株)
- 工一ス薬局広見店
- (株)三宅設計

正会員

- 〔一〇〕 宮越美知代
- 〔三〇〕 長瀬 邦夫 加藤 政博
- 〔二〇〕 山本 孝盛 揖斐 好久 宮川 春子
- 前島 宗直 村瀬 正樹
- 可児市建設業協同組合
- 〔二〇〕 (有)フェニックス
- 小境電気工事(株)
- (有)中部プロパン瓦斯商会
- (株)新興設備
- ジェイアイシーセントラル(株)
- (株)濃飛葬祭
- 岐阜防災(株)
- 千賀石油(株)
- 中部事務機(株)
- (株)セイコー
- 日本ゼネラルフード(株)
- (株)和泉

- 菅井 省一 藤村 恒行 宇野 剛由
- 小川 裕一 可児 薫 堀井 幸一
- 後藤 邦久 一瀬 節江 山田 輝世
- 藤野 和彦 柴畑 直喜 齊藤 道夫

育成会員

- 〔五〇〕 古田 和子
- 〔三〇〕 加藤 孝子
- 〔二〇〕 山田多美恵
- 〔二〇〕 柴畑 澄子
- 齊藤みはる
- 長尾 和子
- 近藤 善守 伊賀 光邦 狩川 正光
- 安江 公男 山岡 郁穂 小島 孝三
- 前田千賀子 堀井 泰弘 亀貝 進
- 加藤 敏明 曾我 巨樹 畑尻 都
- 半澤 卓男 山田 順子 長瀬 洋子
- 市川 尚幸 加藤 紀子 宮口 信久
- 余語 潤一 山口 優子 白村味紀子
- 小椋 竜也 酒向 清治 高木 洋一
- 鍵谷美智代 安江 剛生 梅田 實美
- 加藤 高史 日比野恭治 白川 彰美
- 宮川加代子 玉井 伸二 小川 和正
- 浅野真奈己 山内 千司 吉田 健治
- 和下 開 千葉 進 四之宮賢治
- 鈴木 正隆 秋元 進 河合 進
- 谷口 義晴 大崎 俊昭 道家 義昭
- 佐々 立夫 寶亀 久代 小川 和則
- 高村 峰子 荻山百合子 中原 健二
- 藤田 秀子 中西 敦子 菅谷 ゆか
- 柘植 和廣 石原 福美 朝日 誠一
- 河合みゆき 眞鍋 泰司 堀 智子 花井 一彦
- 伊藤 光子 堀 貴子 山口 和己
- 吉田 昌義 松居 貴子
- 鈴木 広行
- 奥田 智恵 川村 雅哉
- 奥田 智恵 藤野三津子
- 柴畑 靖紀 柴畑千代美
- 加藤あゆみ 加藤 幸子
- 谷口 里子 遠藤八重子

賛助会員

- 〔五〇〕 小島九十男 杉山 洋志 渡辺須磨子
- 〔三〇〕 大嶋 久興 大野起代子 大野 率子
- 〔二〇〕 長瀬 修一
- 〔二〇〕 大前 貞子
- 〔二〇〕 山本 信男 長瀬 寿 原料 久子
- 〔二〇〕 山本 義典 長瀬 京子 奥村ひろみ
- 中根 義典 脇田 純子 佐藤しずか
- 加藤 裕子 脇田 純子 熊谷 恵子
- 水野 信子 杉本 富夫 熊谷 恵子
- 宮原 香代 柴田 美雪 石原すみえ
- 泉濱 巳織 可児 伸子 山本美智子
- 安藤 節子 渡辺 日鶴 梅村 夏子
- 田中真由美 鈴木 純子 渡邊 愛里
- 渡辺 美幸 澤邊みつる 伊藤真理子
- 川口 菊代 佐藤 陽子
- (令和五年十二月一日現在)
- 佐々美佐子 鈴木かなえ 河合 清子
- 井藤三千子 渡辺 浩英 小栗 意夫
- 伊藤 克人 加藤 拓男 瀨瀬 久也
- 伊藤 博人 和田 雄樹 川合 哲也
- 高橋 将也 原 和也 加納 学
- 山口 遼 井戸 駿介 平林 耕生
- 丸山 雅 平林なつみ 永井 香帆
- 小嶋ゆうこ 兼子 雅代 前島恵津子
- 安田有里菜 山口祐実奈 平手 志歩
- 中村なのは 川合圭伊子 塩谷 志保
- 武藤 行子 尾関 友香 千田優之介
- 松村 知樹 太田真由美 加藤ほのか
- 石橋 陽奈 長谷川侑香 林 昌樹



令和四年度  
社会福祉法人可茂会後援会決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会費	1,610,000	1,493,000	-117,000	
特別会員	150,000	120,000	-30,000	30,000円×4口
正会員	1,200,000	1,120,000	-80,000	10,000円×112口
育成会員	180,000	177,000	-3,000	3,000円×59口
賛助会員	80,000	76,000	-4,000	1,000円×76口
2. 雑収入	18,791	22,241	3,450	
バザー収入	0	0	0	バザーの売上等
資源回収	15,000	17,470	2,470	アルミ缶等回収
奨励金	3,000	4,760	1,760	可見市より補助金
預金利息等	791	11	-780	利息、定期端数
3. 前期繰越金	335,209	335,209	0	
合計	1,964,000	1,850,450	-113,550	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会議費	10,000	4,293	-5,707	弁当代等
2. 事務費	530,000	542,007	12,007	
通信費	10,000	8,000	-2,000	切手代
印刷製本費	110,000	56,650	-53,350	会報印刷代
事務消耗品費	10,000	1,787	-8,213	コピー用紙
施設整備費	350,000	475,570	125,570	草刈り業務委託 洗濯機2台
雑費	50,000	0	-50,000	収入印紙
3. 振込手数料	4,000	4,566	566	郵便振替手数料
4. 積立金	1,420,000	1,000,000	-420,000	施設整備積立金
5. 次期繰越	0	299,584	299,584	
合計	1,964,000	1,850,450	-113,550	

収入総額 1,850,450円  
 支出総額 1,550,866円  
 収支差額 299,584円(次期繰越)

監査報告書

令和4年度の可茂後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。

よって適正であることを認め報告いたします。

令和5年4月1日

監事

前島宗直



社会福祉法人可茂会後援会  
 会長 加藤 政博 殿

梅田孝子



特別会計報告書 施設整備積立金

(単位：円)

	収入	支出	残高
平成29年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		10,702,000
平成30年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		11,702,000
可茂学園テレビ2台寄付(令和2.2.10)		440,000	11,262,000
令和元年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		12,262,000
可茂学園テレビ1台寄付(令和2.11.27)		100,000	12,162,000
令和2年度積立金(めぐみの農協)	1,000,000		13,162,000
可茂学園殺菌灯付除菌スリッパロッカー1台寄付(令和3.11.1)		240,000	12,922,000
令和3年度積立金(めぐみの農協)	1,100,000		14,022,000
令和4年度積立金(めぐみの農協)	1,000,000		15,022,000

可茂会後援会にご加入を  
 年間会費  
 特別会員 三万円  
 正会員 一万円  
 育成会員 三千元  
 賛助会員 一千元  
 可茂学園施設整備資金確保のために、新会員  
 のご加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局  
 TEL 六四一三三六六

令和五年度  
可茂会  
後援会役員

伊藤 克人	事務局	川合 哲也	事務局	梅田 實美	監事	前島 宗直	監事	柴畑 直喜	会計	余語 潤一	理事	伊賀 光邦	理事	道家 義昭	理事	副会長	安江 剛生	会長	加藤 政博
-------	-----	-------	-----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-----	-------	----	-------

